

Pt. #33-1-20702
Priority Papers

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年12月14日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-380400

出 願 人
Applicant(s):

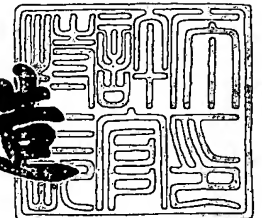
静岡日本電気株式会社



2001年11月16日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3101245

【書類名】 特許願
【整理番号】 01702808
【提出日】 平成12年12月14日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 H04N 5/225
H04M 1/02
H04M 1/62

【発明者】

【住所又は居所】 静岡県掛川市下俣 8 0 0 番地 静岡日本電気株式会社内
【氏名】 神谷 慎一

【発明者】

【住所又は居所】 静岡県掛川市下俣 8 0 0 番地 静岡日本電気株式会社内
【氏名】 鈴木 正隆

【特許出願人】

【識別番号】 000197366
【氏名又は名称】 静岡日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100080816
【弁理士】
【氏名又は名称】 加藤 朝道
【電話番号】 045-476-1131

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 030362
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9807580

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 折畳式携帯電話機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示画面側の第 1 筐体と操作側の第 2 筐体が折畳み可能に連結された折畳式携帯電話機において、

内部にカメラユニット及びレシーバユニットを実装する第 3 筐体を備え、

前記第 1 筐体は、その端部近傍に前記第 3 筐体を収容する空所を有するとともに前記第 3 筐体と回転可能に連結し、

前記カメラユニット及び前記レシーバユニットは、前記レシーバユニットの出力部が表示画面側に向いているときに前記カメラユニットのレンズ部を前記第 1 筐体の端面で覆うことができるようにして前記第 3 筐体に設けられることを特徴とする折畳式携帯電話機。

【請求項 2】

前記空所は、前記第 1 筐体の表示画面上の端部中央近傍に有し、

前記第 3 筐体は、前記空所内で縦方向に回転することを特徴とする請求項 1 記載の折畳式携帯電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、カメラユニットを備えた折畳式携帯電話機に関し、特に、カメラユニットのレンズ部分の汚れやキズを防止することができる折畳式携帯電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来のカメラユニットを備えた折畳式携帯電話機においては、カメラユニットをそのレンズ部分を携帯電話機の筐体の表示画面側上部に現れるような形で実装するという手法が採用されている。これは、携帯電話機を折り畳んだときにレンズ部分が内側に隠れて、レンズ部分の傷や汚れの付着が防止できるためである。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、この手法では、折畳式携帯電話機を開いて使用（通話）している時に、外表面にカメラユニットのレンズ部分が露出し、耳や髪の毛の接触によってキズがついたり、油脂などの汚れが付着したりする心配があった。

【 0 0 0 4 】

本発明の目的は、使用時には簡易にカメラユニットを取り出すことができ、不使用時にはカメラユニットを保護することができる携帯電話機を提供することである。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

本発明の第 1 の視点においては、表示画面側の第 1 筐体と操作側の第 2 筐体が折畳み可能に連結された折畳式携帯電話機において、内部にカメラユニット及びレシーバユニットを実装する第 3 筐体を備え、前記第 1 筐体は、その端部近傍に前記第 3 筐体を収容する空所を有するとともに前記第 3 筐体と回転可能に連結し、前記カメラユニット及び前記レシーバユニットは、前記レシーバユニットの出力部が表示画面側に向いているときに前記カメラユニットのレンズ部を前記第 1 筐体の端面で覆うことができるようにして前記第 3 筐体に設けられることを特徴とする。

【 0 0 0 6 】

また、前記折畳式携帯電話機において、前記空所は、前記第 1 筐体の表示画面上の端部中央近傍に有し、前記第 3 筐体は、前記空所内で縦方向に回転することが好ましい。

【 0 0 0 7 】

【発明の実施の形態】

表示画面側の第 1 筐体（図 2 の A）と操作側の第 2 筐体（図 2 の B）が折畳み可能に連結された折畳式携帯電話機において、内部にカメラユニット（図 2 の 2 5）及びレシーバユニット（図 1 の 2 4）を実装する第 3 筐体（図 2 の C）を備え、前記第 1 筐体は、その端部近傍に前記第 3 筐体を収容する空所を有すると

もに前記第 3 筐体と回転可能（図 2 の矢印参照）に連結し、前記カメラユニット及び前記レシーバユニットは、前記レシーバユニットの出力部が表示画面側に向いているときに前記カメラユニットのレンズ部を前記第 1 筐体の端面で覆うことができるようにして前記第 3 筐体に設けられることにより、通常の通話時にカメラユニットのレンズ部が汚れたりキズがつくのを防止することができる。

【 0 0 0 8 】

【実施例】

本発明の実施例を図面を用いて説明する。図 1 は、本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の開状態におけるカメラユニットを使用していない状態を模式的に示した外観斜視図である。図 2 は、本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の開状態におけるカメラユニットを使用した状態を模式的に示した外観斜視図である。図 3 は、本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の閉状態を模式的に示した外観斜視図である。図 4 は、本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の構成を模式的に示した分解斜視図である。

【 0 0 0 9 】

この折畳式携帯電話機は、表示部 A と、操作部 B と、回転体 C と、から構成されている。

【 0 0 1 0 】

表示部 A は、ヒンジユニット 2 1 を介して操作部 B と回転可能に連結されており、表示面側の表示部フロントケース 1 6 と手元側の表示部リアケース 1 7 からなる筐体を有し、その内部に表示部基板 1 8、LCD 1 9 及び LCD フレーム 2 0 が実装され、表示画面上側の筐体端面の左端近傍にアンテナの先端が突出しており、表示部リアケース 1 7 の表面に凸状のアンテナ収納部を有し、表示画面上側の筐体端面中央近傍に回転体 C を収納するための空所を有し、その空所の左右内側端面に回転可能に回転体 C の軸部 2 2 1、2 3 1 と連結するための軸受部 1 6 1、1 7 1 を有する。

【 0 0 1 1 】

操作部 B は、ヒンジユニット 2 1 を介して表示部 A と回転可能に連結されており、操作面側の操作部フロントケース 1 1 と手元側の操作部リアケース 1 2 から

なる筐体を有し、その内部にキーシート 1 3 及び操作部基板 1 4 が実装されており、操作部リアケース 1 2 の手元側はバッテリー 1 5 を着脱可能に収納する収納部を有する。

【 0 0 1 2 】

回転体 C は、回転体フロントケース 2 2 と回転体リアケース 2 3 とからなる筐体を有し、その内部にレシーバユニット 2 4 とカメラユニット 2 5 を実装し、その外周面にはレシーバユニット 2 4 の出力部とカメラユニット 2 5 のレンズ部とが別方向の向き（ここでは約 9 0 度の角度）にして設けられており、その側端面に表示部の軸受部 1 6 1、1 7 1 と回転可能に連結するための軸部 2 2 1、2 3 1 を有する。

【 0 0 1 3 】

ヒンジユニット 2 1 は、表示部 A と操作部 B とを回転可能に連結する。

【 0 0 1 4 】

次に、本実施例の使用態様を図面を用いて説明する。図 5 は、本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機のカメラユニットを使用していない状態を模式的に示した回転体付近の部分断面図である。図 6 は、本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機のカメラユニットを使用した状態を模式的に示した回転体付近の部分断面図である。

【 0 0 1 5 】

通常の携帯電話機として使用するときには、図 5 を参照すると、回転体のレシーバの取付面（出力部）を正面（表示画面側）に向け、レシーバを耳に当てて使用する。この時、回転体のカメラの取付面は表示部ケース側面 1 6 2、1 7 2 に向いている。

【 0 0 1 6 】

一方、テレビ電話機として使用するときには、図 6 を参照すると、回転体のカメラの取付面（レンズ部）を正面（表示画面側）に向け、テーブル等に据え置きにしハンズフリーで使用する。

【 0 0 1 7 】

従って、通常の携帯電話機として使用するときにはカメラは外部に露出しないた

め、人体の顔や耳などと直接接触することが無く、カメラユニットのレンズの汚れを防止するという効果が得られる。また落下させた時などに、カメラユニットを保護できるという効果がある。

【 0 0 1 8 】

その他の実施例として、回転体の回転方向も水平方向だけでなく、垂直方向の回転体としてもよい。

【 0 0 1 9 】

【発明の効果】

本発明によれば、通常の携帯電話機として使用するときカメラは外部に露出しないため、人体の顔や耳などと直接接触することがなく、カメラユニットのレンズの汚れやキズを防止するという効果が得られる。また、落下させた時などに、カメラユニットを保護できるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の開状態におけるカメラユニットを使用していない状態を模式的に示した外観斜視図である。

【図 2】

本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の開状態におけるカメラユニットを使用した状態を模式的に示した外観斜視図である。

【図 3】

本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の閉状態を模式的に示した外観斜視図である。

【図 4】

本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機の構成を模式的に示した分解斜視図である。

【図 5】

本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機のカメラユニットを使用していない状態を模式的に示した回転体付近の部分断面図である。

【図 6】

本発明の一実施例に係る折畳式携帯電話機のカメラユニットを使用した状態を模式的に示した回転体付近の部分断面図である。

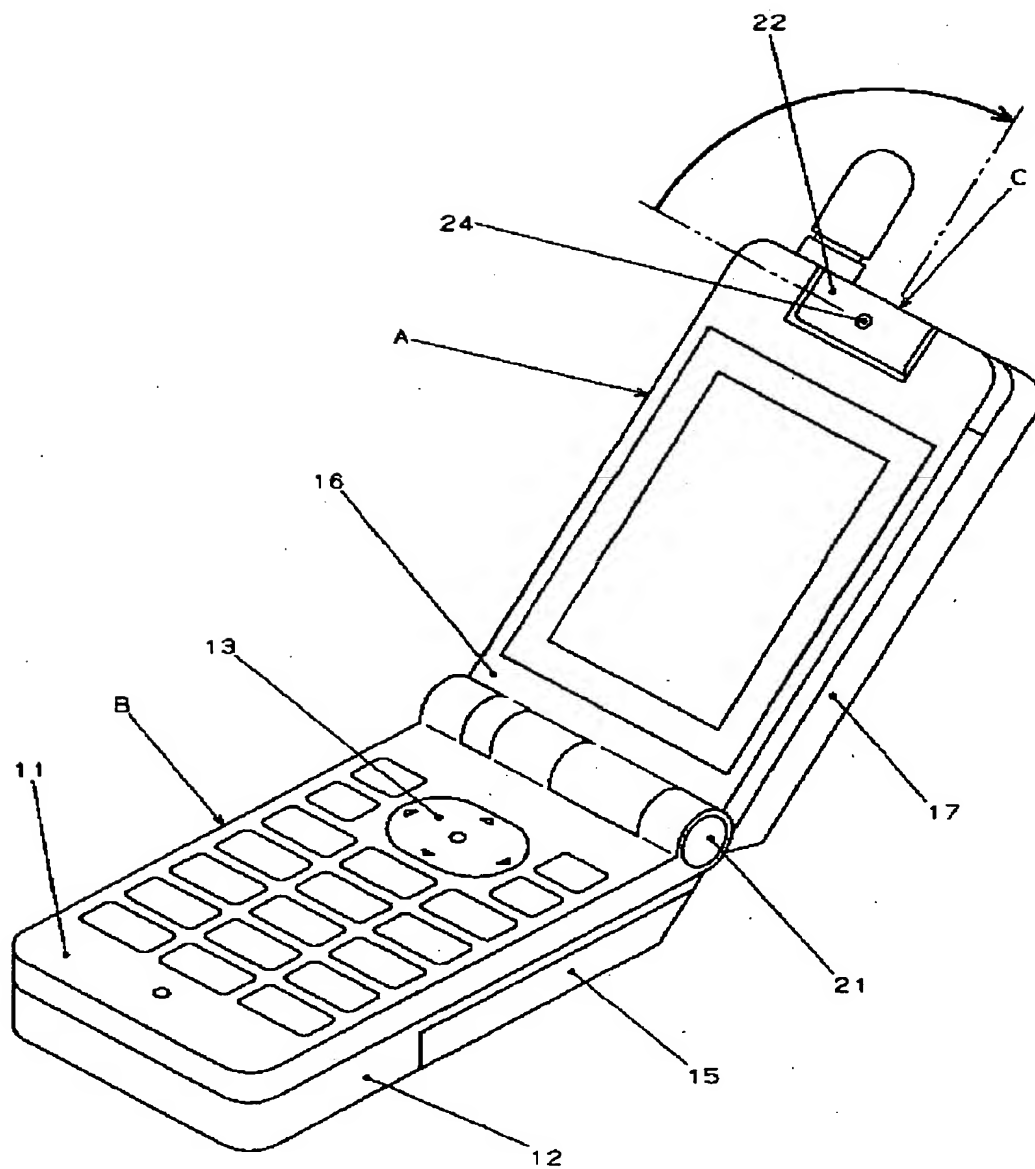
【符号の説明】

- A 表示部
- B 操作部
- C 回転体
- 1 1 操作部フロントケース
- 1 2 操作部リアケース
- 1 3 キーシート
- 1 4 操作部基板
- 1 5 バッテリー
- 1 6 表示部フロントケース
- 1 7 表示部リアケース
- 1 8 表示部基板
- 1 9 L C D
- 2 0 L C D フレーム
- 2 1 ヒンジユニット
- 2 2 回転体フロントケース
- 2 3 回転体リアケース
- 2 4 レシーバユニット
- 2 5 カメラユニット
- 1 6 1 軸受部
- 1 6 2 表示部フロントケース側面
- 1 7 1 軸受部
- 1 7 2 表示部リアケース側面
- 2 2 1 軸部
- 2 3 1 軸部

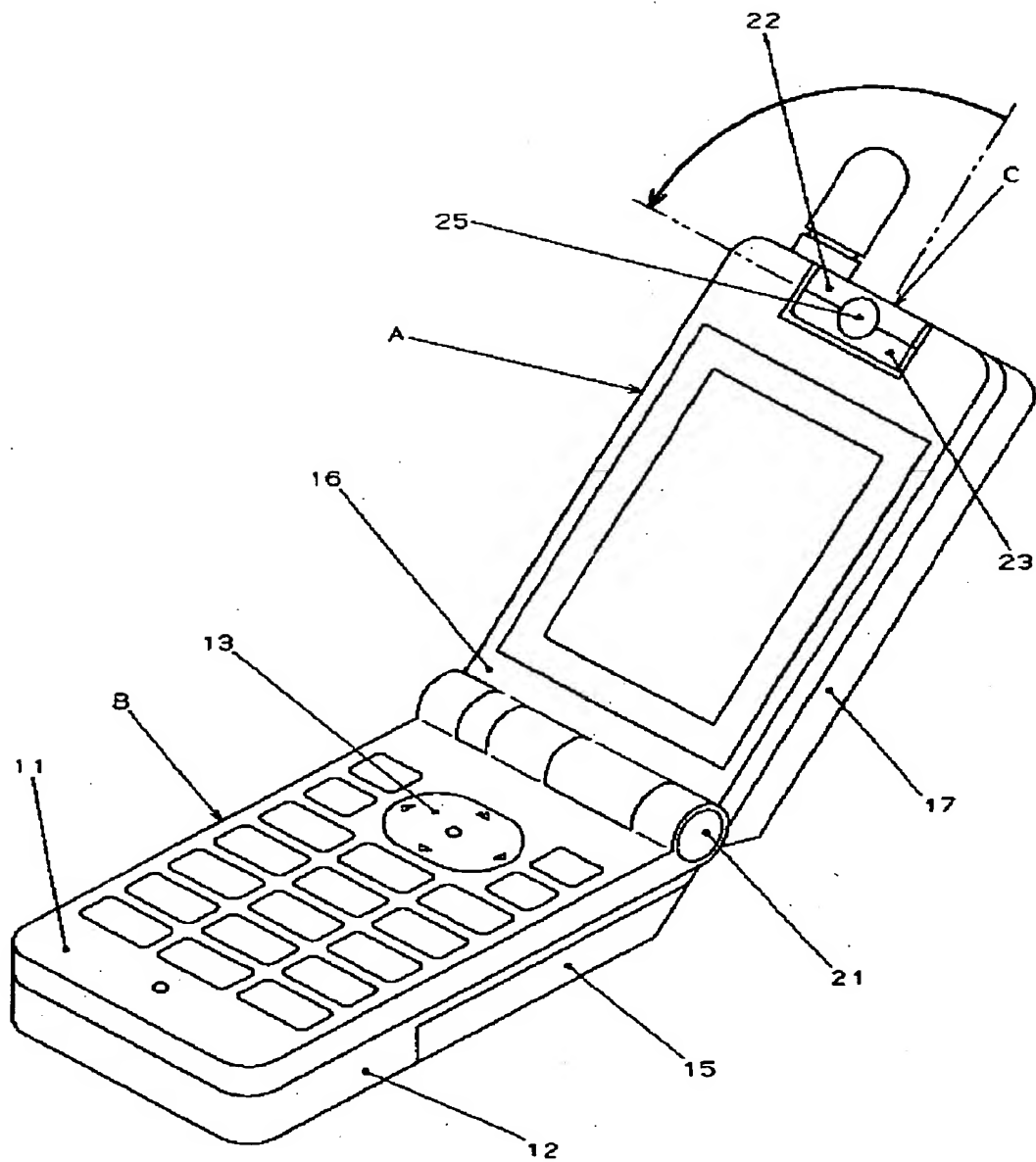
【書類名】

図面

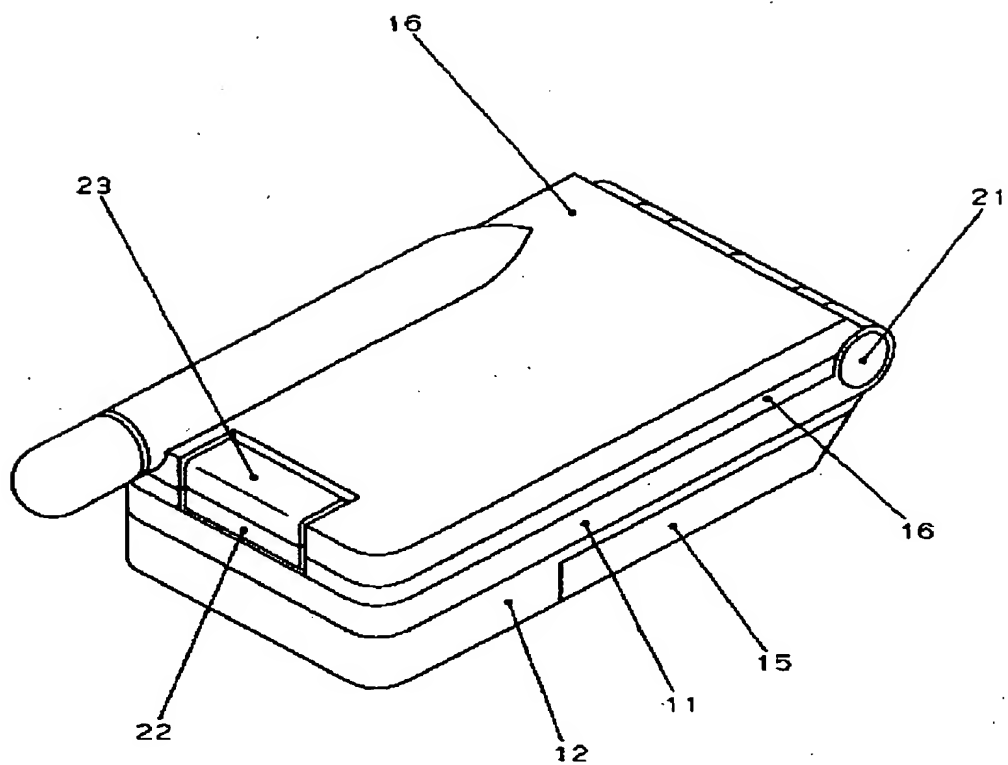
【図 1】



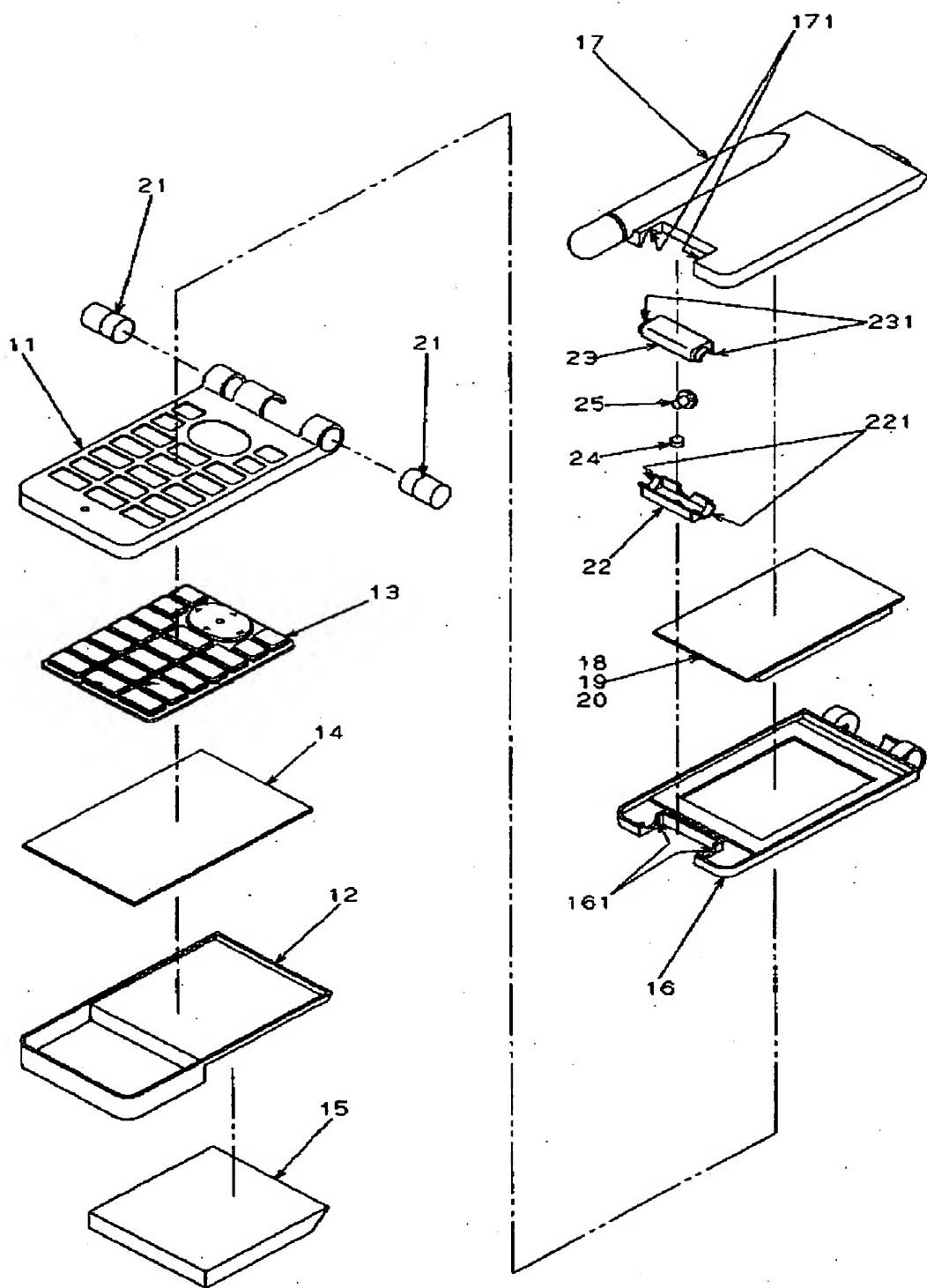
【図 2】



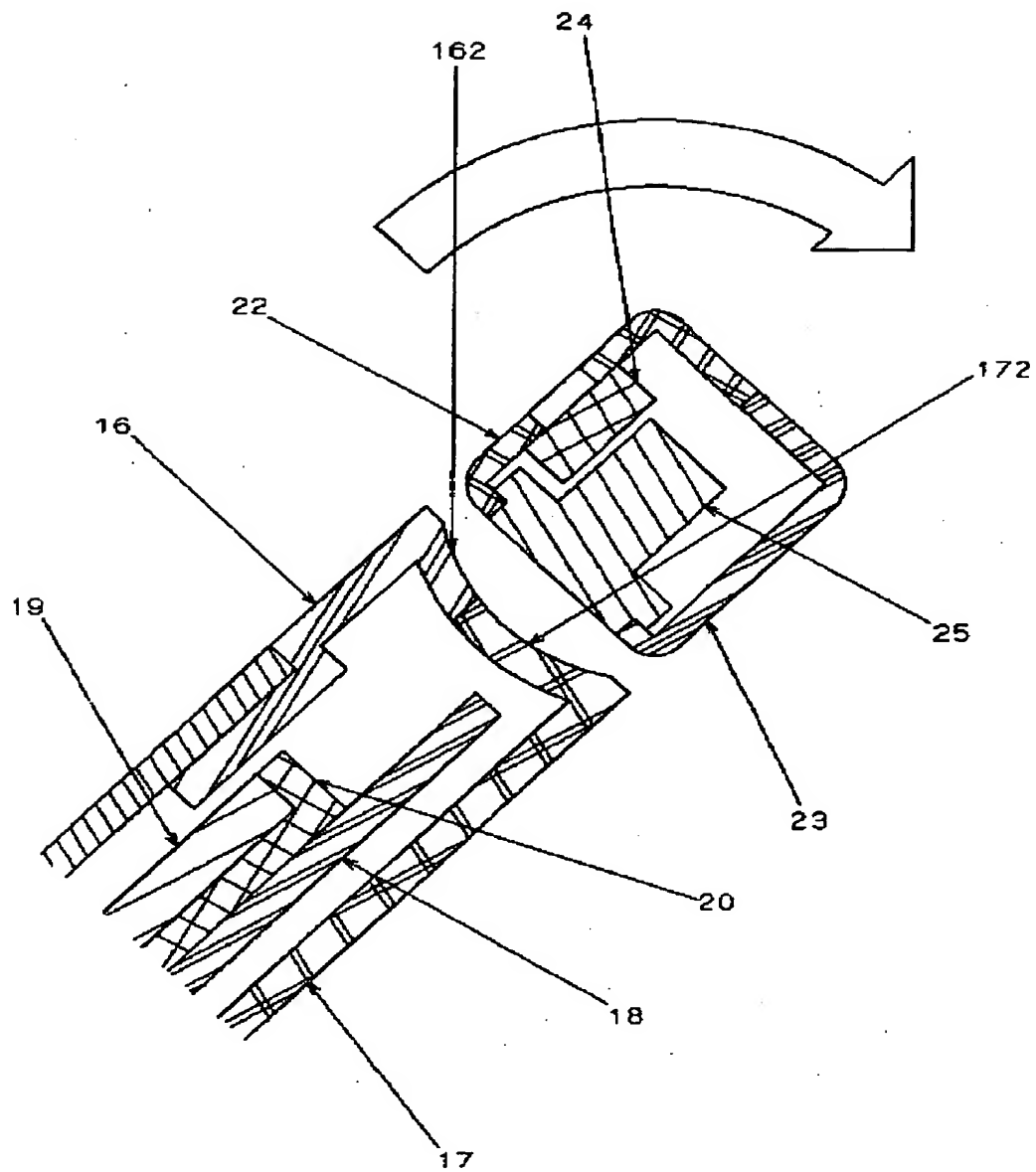
【図 3】



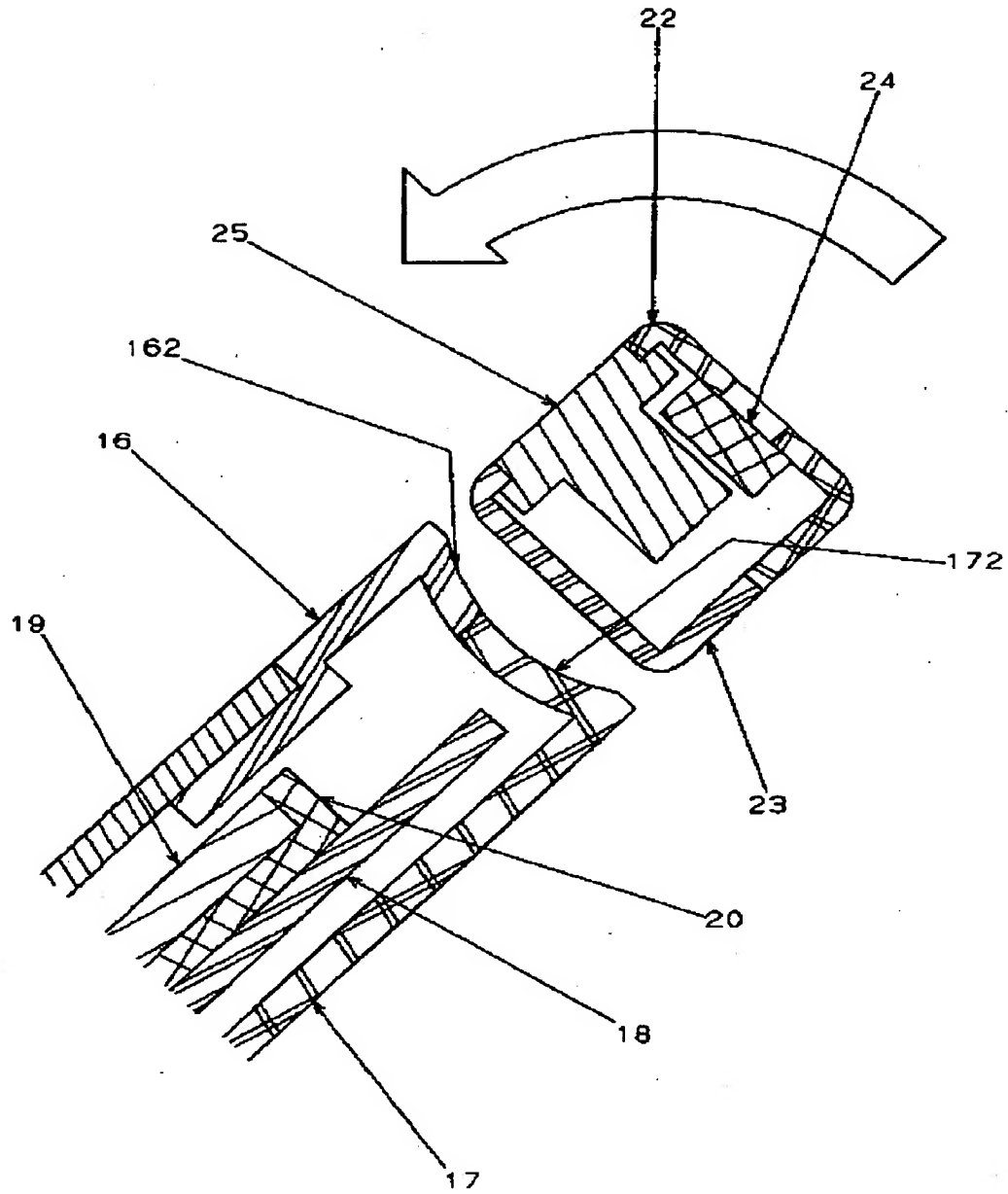
【図 4】



【図5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

使用時には簡易にカメラユニットを取り出すことができ、不使用時にはカメラユニットを保護することができる携帯電話機を提供すること。

【解決手段】

表示画面側の第 1 筐体と操作側の第 2 筐体が折畳み可能に連結された折畳式携帯電話機において、内部にカメラユニット及びレシーバユニットを実装する第 3 筐体を備え、前記第 1 筐体は、その端部近傍に前記第 3 筐体を収容する空所を有するとともに前記第 3 筐体と回転可能に連結し、前記カメラユニット及び前記レシーバユニットは、前記レシーバユニットの出力部が表示画面側に向いているときに前記カメラユニットのレンズ部を前記第 1 筐体の端面で覆うことができるようにして前記第 3 筐体に設けられることを特徴とする。

【選択図】

図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000197366]

1. 変更年月日	1999年 4月 1日
[変更理由]	住所変更
住 所	静岡県掛川市下俣800番地
氏 名	静岡日本電気株式会社